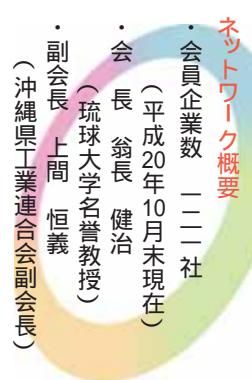
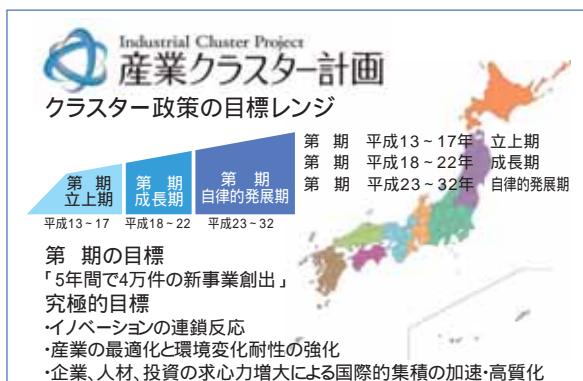


経済産業部



産業クラスター 計画とは

経済産業省では、地域における产学研官連携によるイノベーション創出を目指して、平成13年から産業クラスター計画を推進しています。現在、全国で18のプロジェクトを開催しており、それぞれのクラスターにおいて、IT、バイオ、環境、ものづくり等の産業クラスターを形成し、イノベーションが次々に創出できる環境の整備が進められています。

OKINAWA型産業振興 プロジェクト

沖縄総合事務局では、OKINAWA A型産業振興プロジェクトとして、平成14年度からこの取組みをスタートさせており、「健康・IT・加工交易、環境」の融合したネットワークを形成し、全国のプロジェクトと連携しつつ、ネットワーク会員企業の新事業創出（イノベーション）に向けた取組を支援しています。

産業クラスター自立的発展期へ向けて、本プロジェクトでは、平成20年度よりネットワークの会費制を導入するとともに、その推進事務局を株式会社沖縄T-L-Oに移管し、大学等研究機関と会員企業との更なる連携に努めています。



- 支援機関：六四機関（大学・行政・商工会議所等）
- 事務局：株式会社沖縄T-L-O
- 推進体制（支援スタッフ）：
 - クラスター・マネージャー：一名
 - サブクラスター・マネージャー：三名

| 目標 | プロジェクトの取組概要 | |
|----------------|------------------------------|------------------------------|
| | 新事業等開始件数 | 期待される波及効果 |
| (1)企業立地件数 | 四五〇〇件／五年間 (平成18～22年度) | |
| (2)売上高 | 一兆円規模 | |
| プロジェクトの成果(第1期) | 新事業等開始件数 平成18年度 平成19年度 | *プロジェクトが関係する業界全体の売上高 一一七件 |

Point

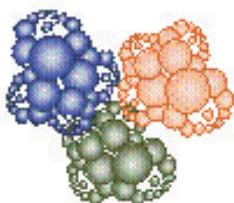
イノベーション創出に取り組む企業を応援します！

「健康・IT・加工交易、環境」を重点分野とした企業のネットワーク化による新商品開発・新事業創出に向けた取組を支援しています。

産業クラスター 計画 OKINAWA型産業振興プロジェクト

！ クラスターとは？

クラスター(Cluster)とは、本来ぶどうの房を意味しますが、転じて群や集団を意味する言葉として用いられています。



1

2

SHIGOTONO*MADO

3

4

5

推進事務局 支援スタッフからの一言



総括

クラスターマネージャー
玉城 昇

クラスター事業の最終的なねらいは、会員企業を中心にして新規事業を群生させることにあり、支援事務局としては、その実現に向けて、会員の皆様の種々の個別具体的なご要望に応えていきたいと思います。

スタッフ一同、クラスターの発展に貢献する心構えをもっています。



健康

食品 保養 医療

サブクラスターマネージャー
(健康関連産業分野担当)

上地 照芳

商品開発の連携支援、県外の商社バイヤー商談会を実施し、会員企業様の売上アップに少しでも貢献できるビジネスマッチングの実現を目指し、又、会員の皆様がいつでも相談できる体制でお待ちしております。



加工 環境

サブクラスターマネージャー
(加工交易型・環境関連産業分野担当)

今井 俊二

「イノベーション」には、企業自身で実現できるものと、産学官連携によって実現できるもの、社会環境を巻き込んだ構造的変革を伴うものがあると考えています。主役である会員企業の皆さまのこれからのイノベーションに向けた主体的な取組みを精一杯支援させていただきます。



情報 企画

サブクラスターマネージャー
(情報関連産業分野・企画調整担当)

大城 周児

企業間連携や異業種連携など商品やサービスの付加価値を高めるマッチングや、商談会など販売に直結する取組等を通して、会員企業の皆さまにメリットを実感していただけるよう努めてまいります。

OKINAWA型
産業振興プロジェクト
推進ネットワーク

事務局 (株)沖縄TLO
〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町千原1
琉球大学地域共同研究センター3F
TEL:098-894-7651 FAX:098-895-8957

www.okinawa-cluster.jp


OKINAWA型産業振興プロジェクト

主な中核的研究会

健康関連産業分野

健康食品産業研究会
沖縄スパ産業研究会
琉球医療ルネッサンス研究会

情報関連産業分野

OSS商材化研究会
沖縄IT政策勉強会

加工交易型産業分野

加工産業発展戦略研究会

環境関連産業分野

環境産業発展戦略研究会

各分野には、さらに小規模な研究会(ワーキンググループ)を設置。

活動1 中核的研究会
プロジェクトの活動の中心は、「それらの分野における「中核的研究会」と呼ばれる研究会です。中核的研究会において、それぞれの分野における活動を行っており、これらは、会員企業を中心として、様々な産業支援機関と連携しながら活動しています。

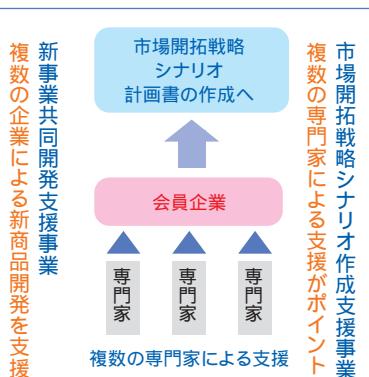
活動2 新事業創出支援事業



沖縄スパ産業研究会の様子
座長は琉球大学観光産業科学部長の平敷教授(左上)

プロジェクトでは、中核的研究会活動のほか、新事業創出支援に向け、専門家派遣事業を実施しています。企業の新商品開発、新事業創出に向け、経済産業省の各種支援施策、地域イノベーション研究開発事業や新連携地域資源活用プログラムなどの効果的な活用に向けて企業が作成する各種計画書等の「プランシップ」などの支援を行っています。

活動3 販路開拓支援事業



プロジェクトでは、会員企業による販路開拓について、県内外における各種商談会・展示会等への出展を支援しています。今年度も全国ハイオビデジタルマッチング(札幌)、DEATECビジネスマッチング(大阪)、びわ湖環境ビジネスメッセ(滋賀)などのほか、沖縄の産業まつりなどへの会員企業の出展を支援しています。

この記事に関するお問い合わせ

内閣府沖縄総合事務局
経済産業部企画振興課
電話 / 098-866-1727

職員等による支援体制を整え、会員企業の新事業創出に向けた取組を、推進事務局とともに支援しています。

現在、経済産業部では、総勢約50名のプロジェクトのもう二つの特徴的な組みは、クラスターマネージャー等とともに、同経済産業部の職員もそれぞれ担当企業をもつて、これらの取組をサポートしている点です。



びわ湖環境ビジネスメッセ2008への出展も支援しました(H20.10月)。